鎌倉の 温古堂
創業一七〇周年
仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

11月1日号
2018年(平成30年)
第476号
毎月1日発行
(一部税込108円)
朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

1本のひもで美を表現
「国際結び文化展」2日から

「国際結び文化展」が11月2日から6日まで鎌倉芸術館で開かれる。日本結び文化学会（滋賀県近江市、熊倉功夫会長）が全国を巡って開催している「結び」の展示会で、国際展は今回で15回目。

「花結び」は、1本の紐を手で結び、花やチョウ、紋などに表現する日本の伝統技法。

茶入れの花結びは、毒薬などの異物の混入を防ぐために考案された鍵の役目をするといわれる。茶道石州流清水派の師匠・故橋田正園氏は、江戸時代の古書に描かれた仕服結びの完成図を見て、どのように結んでいけばこの形にできるかと復元に長年取り組んでいた。現在花結び作家として活躍中の田中年子さんは1964年（昭和39）に橋田さんに弟子入りし、ともに花結びの再現に取り組み、100種類近くを復元。それらを紹介する本を1967年に出版し、茶道の関係者らに頒布されたが、結びが注目されるようになったのはその15年ほど後のこと。

講習や展示の依頼が続き、結び文化の振興・発展を図るため、1992年（平成4）に「日本結び文化学会」が結成された。同会は、結びの調査・研究を行い、研究発表会や講演会、展示会の開催、資料収集、保存、活用ほか、結びを通して海外との国際交流などの活動を展開している。

創作作品「火の鳥」と倉田さん

茶壺や茶入れの花飾り

鎌倉在住の倉田生子さん（84）は、1978年に故橋田正園氏の作品に魅せられ、花結びに入門。現在は田中年子さんに師事し、日本結び文化学会の理事として展示会への出展や国際交流の催しに参加。今回の展示の世話役をしている。

展示されるのは、僧侶が袈裟の上から掛ける修多羅や壁飾り、茶入れ飾りなどの置物、額飾り、アクセサリーなど会員の作品約100点。韓国の愛好者も来日して出展する。水引やワークロープの紹介も。

花結びの魅力を倉田さんは、「伝統的なものから創作まで1本の紐で美を表現できる」と語り、「暮しに根づいた文化で、お子さんから大人まで楽しめる展示会なので、ぜひご来場いただきたい」と話している。

午前10時～午後5時、入場無料。問い合わせ倉田方☎0467・25・4534

明治150年記念「鎌倉流鏑馬」
11日材木座海岸で

今年、明治150年にあたるのを記念し、鎌倉市の安寧、海上安全、大漁豊魚、五穀豊穣、商売繁盛を祈念する流鏑馬が、11月11日鎌倉の材木座海岸で挙行される。

主催は鎌倉流鏑馬実行委員会。日本弓馬術協会武田流が諸役を務め、実行委員長は武田流師範の伊村直也さん（4面「ひと」欄で紹介）。

午前10時半に補陀洛寺を出発した諸役は11時ごろ材木座海岸に到着し、神事のあと11時半から海岸に設置された約300㍍の流鏑馬馬場で、3カ所の的を射ぬく。観覧自由。小雨決行。

第30回近江神宮流鏑馬神事奉納＝今年6月3日

流鏑馬前日の10日午前11時から流鏑馬前の海岸美化活動があり、協力を呼びかけている。

関連行事として鎌倉市二階堂の鎌倉宮で、11月1～11日「近代流鏑馬の歴史写真展」、11月4日、日本弓馬協会・豊田重之理事の流鏑馬教養講座を開催。入場無料。

大会名誉会長の鎌倉宮・小岩裕一宮司、日本古式弓馬術協会、鎌倉市立第一中学校同窓会清潮会、葛原岡神社、補陀洛寺、源頼朝会らが実行委員会を構成し、市や鎌倉漁業組合などが後援している。問い合わせ同実行委員会・木村方☎0467・23・3954

鎌倉 みほとけ紀行 (87)
蓮乗院・阿弥陀如来立像

題字は建長寺派管長 吉田 正道
文 永井宗直
写真 原田 寛

秋風が心地よい季節いつものバイク（カブ号）で10月14日材木座・光明寺山内の蓮乗院さまを訪ねた。

当日は光明寺のお十夜法要の真っ最中。いちどお参りしたいと願っていたチャンスとワクワクしながらの取材でした。こんな時期（ご本山のお十夜）に申し訳なかったのですが、ご住職やお稚児さんの世話役をされていたお寺のお嬢様に親切にしていただきました。

蓮乗院はこの地にあった蓮乗寺という真言宗寺院でしたが、浄土宗第三祖光明寺御開山然阿良忠上人によって浄土宗蓮乗院と改めました。良忠は光明寺の落成まで蓮乗院に居住しておられたことにより、以後代々光明寺の法主（ご住職）に上がられる方は蓮乗院に入ってから改めて光明寺に入る慣わしになっているそうです。

御本尊阿弥陀如来立像は金泥に修復され新しい印象を受けるものですが、像内に正安元年（1299）、鎌倉時代の年号がみられ、大仏師、播磨の法橋宗圓の作と伝えられる貴重な文化財となっています。宗圓という仏師は未詳ですが、近年、京都の石清水八幡宮の男山太子堂の南無仏太子像の作者であることが解明されていると伺いました。

修復前の写真が残っているとご住職より見せていただき、「昔の方がふくよかにみえますよ」と笑っておられました。

今なお、如来は蓮の台に乗って人々の往生を願ってやまないのです。境内の沢山の露店で人々は賑やかで楽しげ。なかには一杯やれる店もあり、和やかな雰囲気にお寺はこれでよいのだと頷き、活きた仏教を感じ気持ちが軽くなりました。

寄木造、玉眼、金泥、像高81・8㎝、鎌倉時代、市重文。拝観は本堂正面から。

鎌倉の年中行事 11月

▼宝物風入 3～5日、円覚寺、建長寺。

▼国宝舎利殿特別公開 3～5日、円覚寺。

▼火焚き祭 8日14時、鶴岡八幡宮境内の丸山稲荷社。五穀豊穣、無病息災祈願。鎌倉神楽奉納。

▼写真供養感謝祭10日11時浄智寺（7面に詳細）

▼「七五三」の宮参り 15日。女子7歳「帯結び」、男子5歳「袴着け」、男女3歳息災と幸福祈願。

▼逗子流鏑馬と武者行列 18日11時15分、武者行列（亀岡八幡宮～）。13時、流鏑馬（逗子海岸）。

▼時頼忌大俳句大会 23日11時～投句。建長寺。

▼新嘗祭 23日10時、鶴岡八幡宮。収穫の感謝と国の弥栄を祈念。

▼一ツ火法要 27日17時、遊行寺。灯火を燈し仏法甦り念仏祈念。

プロムナード

今年は異常に強い台風に鎌倉も何度か襲われました▼台風当日夜にはJRが運休し、翌朝も電車のダイヤが乱れて、人々に大きな影響を与えました▼そのような中、大船駅で折り返し運転をしていることを知らない外国人が電車に乗り合わせていたそうです。知人は「鎌倉に行きたい」と声をかけられたそうですが、乗車していたのは大船から折り返し運転の電車だったそうです▼緊急時のアナウンスが日本語だけであったために生じたアクシデントでした▼防災無線なども現状では日本語のみが流されているような気がします▼様々な国の人が安心して訪れることのできる場所にするためにも外国語の案内も必要であることを痛感しました。（N）

鎌倉石屋
梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

新発売！
鎌倉産たこ使用
たこのり
たこせん
たこチップ
株式会社 大森商店
o.m.s.souvenir.works
☎0467-22-2626
http://www.e-omori.com/

長谷3丁目 現地見学会
望のぞみ455 BOLOGNA
地震に強い
1/2ムーブサイズの耐力壁
11月1日(木)～4日(日)の4日間
10：00～15：00
地震には強く、しかも大きな開口部の明るい開放的な室内に…そんなお客様の願いは、私たちにお任せください！
設計施工 ウスイホーム株式会社
協力（問合せ先） 清興建設株式会社
0467-24-3700（代表）
担当：石渡（隆雄）・久下
お気軽にお問合せください！

殿が音痴!?
戦場では負けず知らずの殿と家臣たちに迫る人生最大の試練。それは歌だった。
殿が天下人の催す宴で歌を披露する。そのことだけで気が重い。ここだけの話、殿が音痴なのだ。厳しい稽古に七転八倒する殿。家中崩壊の危機に逃げ惑う家臣団。外す音程、乱れるリズム、果たして、彼らのハーモニーの行きつく先は…。
小劇団から世界に飛び出すエンターテイメント集団
風雲かぼちゃの馬車
演出：土井宏晃
作・作詞：重信臣聡
作曲：中島とくあき
12月15日(土)15時開演
湘南台文化センター市民シアター
全席自由 2,000円（税込）
■プレイガイド■
藤沢市民会館……0466-23-2415
湘南台文化センター市民シアター……0466-45-1550
チケットぴあ……0570-02-9999(Pコード488-792)
ローソンチケット……0570-000-407(Lコード33679)
カンフェティ……https://www.confetti-web.com
■主催・問合せ（公財）藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課 Tel.0466-28-1135
■後援 藤沢市・藤沢市教育委員会 ■協力（公財）藤沢市まちづくり協会・藤沢市民会館サービス（株）共同事業体